

## 議会議案第3号

クジラの赤ちゃんからのメッセージを受けとめSDGsの  
目標を反映させる取り組みを求める決議について

クジラの赤ちゃんからのメッセージを受けとめSDGsの目標を反映  
させる取り組みを求めることに関し、次のとおり決議する。

平成30年9月26日提出

提出者	鎌倉市議会議員		くりはらえりこ
同	同	上	竹田 ゆかり
同	同	上	長嶋 竜 弘
同	同	上	武野 裕 子
同	同	上	西岡 幸 子
同	同	上	日向 慎 吾
同	同	上	飯野 眞 毅
同	同	上	久坂 くにえ
同	同	上	安立 奈 穂

## クジラの赤ちゃんからのメッセージを受けとめSDGsの目標を 反映させる取り組みを求める決議

2018年6月、国がSDGs達成に向け優れた取り組みを行う29自治体をSDGs未来都市として選定し、鎌倉市と神奈川県も選ばれている。また、特に先導的な取り組みを行う10自治体をSDGsモデル事業として選定し、鎌倉市は『持続可能な都市経営「SDGs未来都市かまくら」の創造』、神奈川県は、『いのち輝く神奈川 持続可能な「スマイル100歳社会」の実現』で選ばれている。

鎌倉市議会においては、2017年2月議会で、請願第4号「プラスチックフリーの街鎌倉を目指して、ゼロ・ウェイストかまくらの理念のもと、リデュース（発生抑制）の取り組みを市役所が率先垂範して実施する事を求める請願書」を採択し、2017年6月議会では、議会議案第1号「SDGs目標14“海の豊かさを守ろう”の達成のため、使い捨てプラスチック製品を使わないことで、リフューズを推奨するよう国に求める意見書」を議決している。

2018年夏、海洋汚染が世界規模で大きな社会問題として広がる中、鎌倉市由比ヶ浜にシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されるという事態が起こった。国立科学博物館によると、シロナガスクジラが国内の海岸に漂着した記録はなく、今回が初めてとみられるとのことである。

神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受けとめ、持続可能な社会を目指すSDGsの具体的な取り組みとして、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題に取り組むために黒岩祐治神奈川県知事が、9月4日「かながわプラごみゼロ宣言」を発表した。

その中で具体的な目標として次の3点を挙げている。

- 1、コンビニエンスストア・スーパーマーケット・レストラン等と連携し、プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止や回収などの取り組みを進めていきます。
- 2、県内で行われる環境イベント等においてプラスチック製ストローの利用廃止や回収などを呼びかけていきます。
- 3、海岸利用者に対して、海洋汚染の原因となるプラごみの持ち帰りを呼びかけていきます。

これらの目標を達成させるために鎌倉市として国、県や関連諸団体と協力して取り組みを進めるとともに、鎌倉市として、独自にSDGsの目標を行政運営に反映させる取り組みを策定するとともに行政の体制づくり、職員教育の取

り組み、関連諸団体との協働、市民への啓発などを行い、SDGs未来都市として世界をリードしていくことを求めるものである。

以上、決議する。

平成30年9月28日

鎌 倉 市 議 会